

道路建設工事におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	14～15	倉庫で材料の片付をしていて上側の棚で作業中に、下の土間の方へ降りようとハシゴを使い降りる時に左足が滑って1m位の所から落ち、鉄筋で加工した吊荷用具に左腕が当たり、土間コンクリートで左肩を強打した。	62	1～9
5	16～17	本社倉庫内の資材棚にハシゴをかけ、水路工事で使用する塩ビ管の在庫確認作業を行っていた際、塩ビ管の1本を引っ張ったところ、隣に積まれた材木（10～20cm角、長さ1～2m）の一部が崩れ頭部～肩部にぶつかりハシゴ上でバランスを崩し約1.2mの高さから落下し被災した。脳内に異常や出血も見られず、心肺機能にも異常は見られなかったが、右肩部の骨折と診断された。	63	30～49
9	10～11	歩道工事で、下請の作業員が高木（約7m）を撤去作業中（高所の枝をすべて撤去）残り約2.5mを撤去中、木に帯ひもを掛けてユニックで吊り上げつつ脚立の上から（地上約2m）、チェーンソーで枝を切断している時切れた枝が自分の方に向かってきた為、とっさに脚立から足がおりてしまい、左手・胸・腰のあたりを地面に強打し負傷した。	40	10～29
9	12～13	昼休憩のため、作業場より戻る際、高さ1.8mの壁を梯子で乗り越していた際に、登り切った所よりバランスを崩し後方へ転落した、転落した際に、尻もちをついた様に落ちたので、衝撃で腰より背中にかけて痛みを訴えていた。	37	10～29
12	11～12	当会社内資材置場で、人の手では届かない為、6尺の脚立を使用して、鉄筋で溶接したフックに物を吊り上げる為の鉄バサミを掛け様としていた時、床面が凍結していた為か動いた時に脚立のバランスを崩し、60cm位の高さから転倒し、その時、左足すねと左腰を打撲した。	37	10～29

12	15~16	屋外バスケットコートで塗装作業中、脚立に上った際に足元が滑り、脚立ごと転倒して左手首を骨折した。当日は時折雪が降っており、滑りやすい状況であった。	1 44 ~ 9
----	-------	---	-------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html